

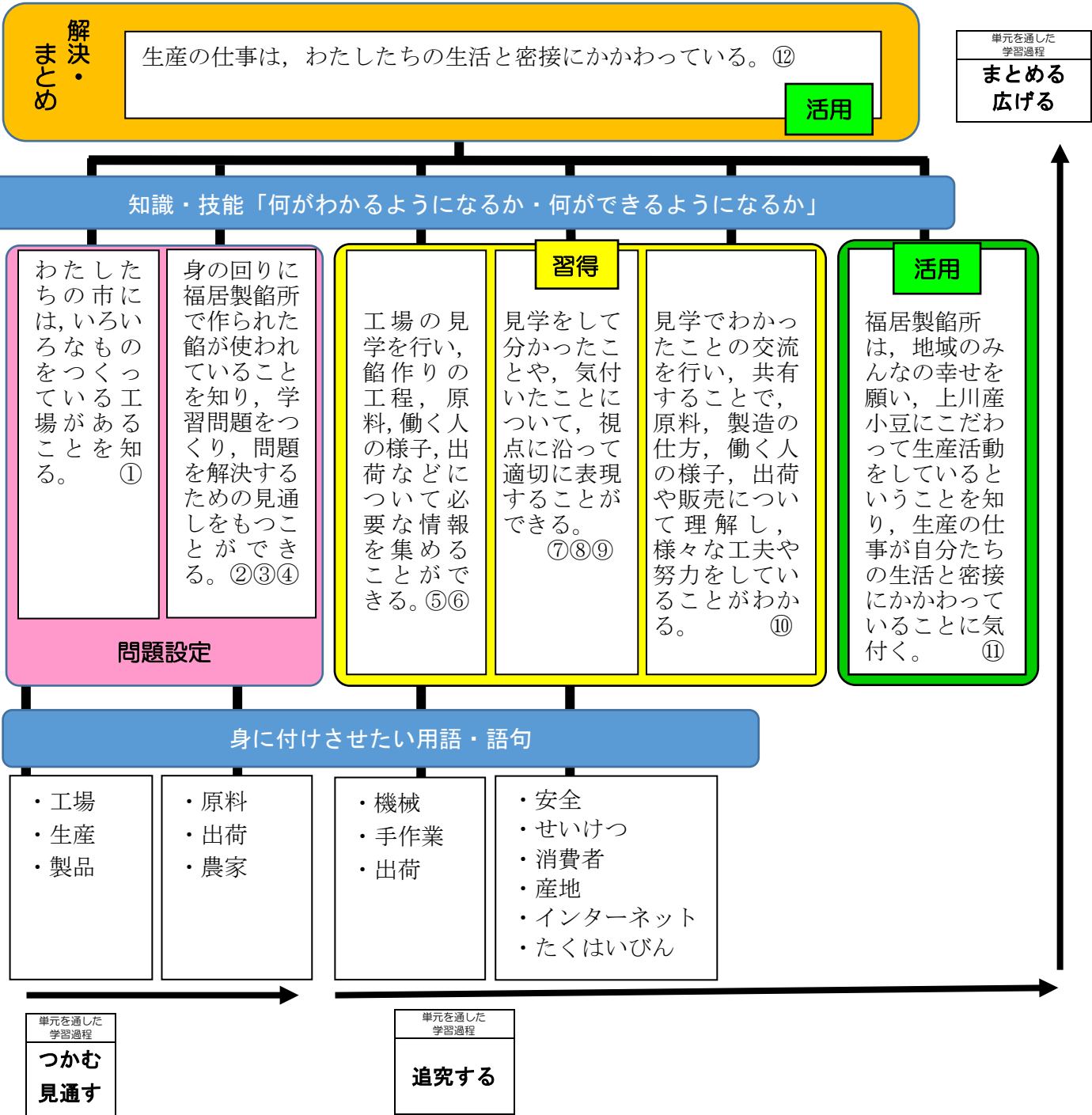
学年	教科	単元名	児童	場所	指導者
3年	社会科	はたらく人とわたしたちの くらし～工場の仕事～	3年1組35名	3年1組 教室	紺野 愛子

1 単元について

単元マップ

子どもの深い
学びの姿

福居製館所の見学・調査を通して、生産の仕事が地域の人々の生活と密接な関係があることを捉え、具体的な事実をもとに説明することができる。



本単元で育てたい資質・能力

【知識・技能】

- 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解すること。
- 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。

【思考力・判断力・表現力等】

- 仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関係を考え、表現すること。

【学びに向かう力、人間性等】

- 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

単元・題材について

- (2) 地域に見られる生産や販売の仕事について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
- (ア) 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解すること。
- (イ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。
- イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
- (ア) 仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現すること。

本単元では、仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめ、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現することを通して、生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解できるようにする。

児童の実態

児童たちにとって、本単元は社会科の学習が始まってから3つ目の単元となる。一番身近な朝日地区や旭川市の学習から始まり、地域にあるスーパーマーケットの学習を経て本単元に至り、これまでよりもさらに視野を広げる必要のある学習となる。

本学級の児童は、社会科の学習に対しては、身の回りの事象に興味をもち、校区探検や見学・調査活動にも意欲的に取り組むことができる。

前単元ではスーパーマーケットを見学し、見学の仕方やインタビューの仕方などを習得している。見学後は自分の目や耳で確かめた情報をもとに、視点別のグループをつくり、模造紙へのまとめ、発表・交流を体験している。

一方、資料を根拠にして説明したりすることや、目には見えない人の営みに隠れた思いや願いについて、知識を関連付けて考えたりすることには慣れておらず、課題がある。

また、自分たちが住む地域への関心は高いが、まだまだ無知な部分が多い。地域で活躍する工場や働く人たちの理解を深めることによって、地域の一員としての自覚を育んでいきたい。

単元の目標

地域の人々の生産について見学したり、調査したりしてまとめ、それらの仕事に携わっている人々の工夫や努力を理解するとともに、生産する人の思いを知ること、自分の住む地域に愛情をもつ。

単元の指導について

本単元では、旭川市内の菓子店や道内外に広く餡製品を供給している福居製餡所を教材とする。教材選定の理由としては、まず、本校校区にあり、児童の生活に身近であるということ。次に、福居製餡所はものづくり以外にも、生産者（農家）に対して愛情をもって生産活動を行っているということが、本単元の教材として適切であると考えた。

また、これまで児童は自分たちが住む朝日地区、旭川市の学習を終え、それらを「地域」と理解してきているが、本単元では原料の小豆を生産している上川地方にまで視野を広げ、関連のある身近な地域として理解させていきたい。

これらを踏まえ、福居製餡所の生産活動について見学したり、調査したりして調べ、製品と自分たちの生活とのつながりや、工場で働く人の仕事の工夫について理解させたい。さらに、製品や原料に対する生産者の思いにも気付かせ、自分たちが住む地域への愛情を育んでいきたい。

「つかむ・見通す」段階では、福居製餡所ではたくさんの餡製品が作られていることや、身近なお菓子や給食のあんパンにも福居製餡所の餡が使用されているという事実を知らせ、地域の工場に関心をもたせる。このような事実をもとに、福居製餡所は消費者のことを考えて生産活動を行っているということを予想し、「福居製餡所では、どのような思いをもってあんこを作っているのだろう」という学習問題を設定する。

「追究する」段階では、工場を見学する際に、「見ること」「聞くこと」を意識させて取り組ませる。調べる観点を「原料」「製造の仕方」「働く人の様子」「出荷」の4つに絞って、グルーピングし、主体的に社会的事象を追究させる。工場見学や働く人への質問からわかった事実から、「地域に根ざした」、「安心安全な」生産活動をしていることや餡作りに対する「工夫や努力」に気付かせ、模造紙にまとめさせる。それらを全体で交流し、各観点の共通点を捉えることで、生産と消費がつながっていることに気付かせたい。

「まとめる・広げる」段階では、全国に広く流通している小豆は十勝産のものであることを資料から読み取らせる。資料を通して、「福居製餡所では、なぜ流通の少ない上川産の小豆にこだわって使用しているのか。」という疑問がわいてくると考える。この新たな疑問について、製餡所と消費者だけではなく、生産者（農家）や菓子店といった多角的な視点で生産と消費のつながりの意味や生産者の思いを考えさせ、児童を深い学びに向かわせたい。

単元の評価規準			
【社会的事象への関心・意欲・態度】	【社会的な思考・判断・表現】	【観察・資料活用の技能】	【社会的事象についての知識・理解】
① 地域の工場の仕事の様子に関心をもち、意欲的に調べている。 ② 工場の仕事と自分たちの生活とのかかわりを考えようとする。	① 地域の工場の仕事の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 ② 工場の仕事の工夫を自分たちの生活と関連付けて考え、適切に表現している。	① 観点にもとづいて見学したり、資料を活用したりして、工場の仕事の様子について必要な情報を読み取っている。 ② 調べてわかったことをノートや作品にまとめている。	① 工場で働く人や、仕事の様子について理解している。 ② 地域には工業製品の生産にかかわる仕事があり、自分たちの生活を支えていることを理解している。

子どもの深い学びの姿
 福居製餡所の見学・調査を通して、生産の仕事が地域の人々の生活と密接な関係があることを捉え、具体的な事実をもとに説明することができる。

2 単元の指導計画 【12時間扱い 11/12】

段階	時	○おもな学習活動・具体的内容 □まとめ	【 】教師の評価基準（評価方法） ◇ 指導の手立て ☆ 思考を活性化させるアクティブ化ポイント<用いる思考スキル>
つかむ・見通す	①	○わたしたちの市には、いろいろなものをつくっている工場があることを知る。 ・旭川市にどんな工場があるかを考え、どんな生産活動をしているのかを知る。 ・旭川市の工場の分布を知る。 □旭川市には、いろいろな生産の仕事がある。	【関・意・態①】 地域の工場の仕事の様子に関心をもち、主体的に調べたり考えたりしようとしている。（発言、ノート） ◇ 身近な工場から話題を広げ、生産の仕事に関心をもたせる。
	②	○福居製餡所の餡を使った製品の多さを知り、気付いたことや疑問に思ったことをもとに学習問題を作る。 ・自分たちが住む地域に、有名な製餡所があることに気付く。 ・福居製餡所では様々な種類の餡製品を作っていることや、福居製餡所の餡を使用している菓子店が旭川市内に多くあることを知り、気付いたことを話し合う。 □ふくいせいあん所では、どのような思いをもってあんこを作っているのだろう。	【思・判・表①】 福居製餡所の様子について、主体的に予想し、学習問題をつくることができる。（発言、ノート） ◇ 資料から、疑問に思ったことや気付いたことを表現させる。 ☆ 福居製餡所では、たくさんの種類の餡製品をつくっていることがわかる写真や資料を提示することで、餡作りに関心をもたせ、児童の思考を深めていく。【思A-②】<S⑧関連付ける>







	<p>③ ④</p> <p>○調べたいこと、疑問に思ったことをもとに学習計画を立てる。 ・学習問題に対して予想をする。 ・工場見学において、調べたいことや疑問に思ったことを話し合う。 ・製造や流通の流れを予想する。 ・解決の手順や調べ方、まとめの方向性を見通しをもつ。</p>	<p>【思・判・表①】 福居製館所の様子について、主体的に予想し、学習計画を立てることができる。(発言, ノート) ☆ 学習問題について、自分なりの予想を立てさせることで、これから調べていくことの視点を絞り、単元全体の見通しをもたせる。 【思A - ⑦】 <S⑮推論する></p>
	<p>⑤ ⑥</p> <p>○学習計画に基づいて、工場の見学・調査や資料などを活用して調べる。 ・「原料」「製造の仕方」「働く人の様子」「出荷」の4つのグループに分かれ、情報を集める。 ・働く人の話から、館作りにおける工夫や努力、願いなどについて調査をする。</p> <p>あんこ作りには、たくさんのきかいと人がかかわっている。</p>	<p>【技能①】 福居製館所の様子について、見学・調査をして、必要な情報を集めることができる。(ワークシート)</p> <p>◇ 見学の観点を明確にして、大事な箇所に着目させる。</p>
<p>追究する</p>	<p>⑦ ⑧ ⑨</p> <p>○見学・調査をしてわかったことや気付いたことをまとめる。 ・グループ毎に、見学でわかったことをまとめる。 ・見てわかったことの意味を考えることによって、館作りの工夫や努力に気付く。</p> <p>○原料 ふくいせいあん所では、上川かん内で作られたあずき「しゅまり」を使っている。</p> <p>○製造 きかいや手作業で、おいしいあんを作れるように工夫・努力をしている。</p> <p>○働く人 せいけつにたもつ工夫や、安心して安全なあんをおきやくさんにとどけるど力をしている。</p> <p>○出荷 ふくいせいあん所のあんこは、旭川市内や道外のおかしやさんで使われている。</p>	<p>【技能②】 見学や調査をしてわかったことを、ノートや作品にまとめている。(ノート, 発表物)</p> <p>【知・理①】 福居製館所に従事している人々や仕事の様子について理解している。(発言, 作成物)</p> <p>◇ 見学の観点に沿って、わかったことやメモしたことを整理させる。</p>
	<p>⑩</p> <p>○「原料」「製造の仕方」「安心・安全」の観点で、仕事の様子について、共通点から工夫を考える。 ・各グループのまとめた内容について、共通点を交流する。 ・出荷方法や出荷先を知り、小豆から館製品になって、消費者に届くまでを理解する。</p> <p>ふくいせいあん所は、おきやくさんがよろこんでくれるように、あん作りをしている。</p>	<p>【思・判・表②】 福居製館所に従事している人の仕事の工夫を、自分たちの生活と関連付けて考え、適切に表現している。(発言, ノート)</p> <p>◇ 関連する資料や、他の児童の発言に注目させる。 ☆ 各グループの発表内容を比較し、共通点を見付けることで、働く人の工夫や努力に気付かせる。【思A - ⑩】 <S④比較する></p>

	⑪ (本時)	<p>○上川産小豆と十勝産小豆の生産量，流通量について比較し，福居製餡所が上川産「しゅまり」を使用する思いを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上川産小豆「しゅまり」よりも，十勝産小豆が全国的に人気があり，広く流通している事実を知る。 ・餡作りに関わる，農家や菓子店からの立場から，それぞれの思いを考える。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">ふくいせいあん所は，地いきみんなの幸せをねがって，上川産「しゅまり」を使っている。</p>	<p>【思・判・表②】 福居製餡所が，餡作りに関わる全ての人の幸せを願い上川産小豆「しゅまり」を原料として使用している理由を，既習内容や資料を基に考え，適切に表現できるようにする。 (発言，ノート)</p> <p>◇ 関連する資料に着目させ，地元の原料を使うよさについて考えさせる。</p> <p>☆ これまで学習してきて，思い入れも湧いてきている上川産「しゅまり」が一般的ではないという現実を投げ掛け，それを原料として使う福居製餡所の思いを考える。【思A-⑩】<S①多面的に見る></p>
まとめる・広げる	⑫	<p>○福居製餡所の思いを振り返り，他の生産の仕事についても思いや願いがあることを知り，視野を広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の工場でも，生産者の工夫や努力，消費者に対する思いがあることを知る。 ・生産の仕事には，餡作り以外にも様々な工場があり，いろいろな立場の人とつながっていることを知る。 ・単元を通した学習の振り返りをする。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">生産の仕事は，生産者や消費者の幸せを願って，こだわりをもって生産活動をしている。</p>	<p>【知・理②】 地域には，いろいろな工業製品の生産にかかわる仕事があることを知り，生産活動における願いや思いを知る。 (発言，ノート)</p> <p>【関・意・態②】 働く人と私たちの生活とのつながりに気付き，地域の一員としてできることを考えようとしている。 (発言，ノート)</p> <p>◇ 製餡所との共通点をさがし，他の生産の仕事について考えさせる。 【思A-⑫】</p>

問題かいつニコニコシート 「はたらく人とわたしたちのくらし～工場の仕事～」

名前

【学習問題】「ふくいせいあん所では、どのような思いをもってあんこを作っているのだろう。」

時間	学習内容	② 学習問題をつくろう！ 思考・判断・表現	③④ 学習計画をつくろう！ 思考・判断・表現	⑤⑥ 工場の見学に行こう！ 資料活用の技能	⑦⑧⑨ 調べたことをまとめよう！ 資料活用の技能	⑩ まとめたことを交流し合って、学習問題について考えよう！ 思考・判断・表現	⑪ ふくいせいあん所が、なぜ「しゅまり」を使うのか考えよう！ 思考・判断・表現	⑫ 生産の仕事について考えよう！ 知識・理解
	  	学習問題を「ふくいせいあん所」でつくろう！ 思考・判断・表現 学習問題を「ふくいせいあん所」でつくろう！ 思考・判断・表現	③④ 学習計画をつくろう！ 思考・判断・表現 学習計画をつくろう！ 思考・判断・表現	⑤⑥ 工場の見学に行こう！ 資料活用の技能 工場の見学に行こう！ 資料活用の技能	⑦⑧⑨ 調べたことをまとめよう！ 資料活用の技能 調べたことをまとめよう！ 資料活用の技能	⑩ まとめたことを交流し合って、学習問題について考えよう！ 思考・判断・表現 まとめたことを交流し合って、学習問題について考えよう！ 思考・判断・表現	⑪ ふくいせいあん所が、なぜ「しゅまり」を使うのか考えよう！ 思考・判断・表現 ふくいせいあん所が、なぜ「しゅまり」を使うのか考えよう！ 思考・判断・表現	⑫ 生産の仕事について考えよう！ 知識・理解 生産の仕事について考えよう！ 知識・理解
	 	学習問題を「ふくいせいあん所」でつくろう！ 思考・判断・表現 学習問題を「ふくいせいあん所」でつくろう！ 思考・判断・表現	③④ 学習計画をつくろう！ 思考・判断・表現 学習計画をつくろう！ 思考・判断・表現	⑤⑥ 工場の見学に行こう！ 資料活用の技能 工場の見学に行こう！ 資料活用の技能	⑦⑧⑨ 調べたことをまとめよう！ 資料活用の技能 調べたことをまとめよう！ 資料活用の技能	⑩ まとめたことを交流し合って、学習問題について考えよう！ 思考・判断・表現 まとめたことを交流し合って、学習問題について考えよう！ 思考・判断・表現	⑪ ふくいせいあん所が、なぜ「しゅまり」を使うのか考えよう！ 思考・判断・表現 ふくいせいあん所が、なぜ「しゅまり」を使うのか考えよう！ 思考・判断・表現	⑫ 生産の仕事について考えよう！ 知識・理解 生産の仕事について考えよう！ 知識・理解
		学習問題を「ふくいせいあん所」でつくろう！ 思考・判断・表現 学習問題を「ふくいせいあん所」でつくろう！ 思考・判断・表現	③④ 学習計画をつくろう！ 思考・判断・表現 学習計画をつくろう！ 思考・判断・表現	⑤⑥ 工場の見学に行こう！ 資料活用の技能 工場の見学に行こう！ 資料活用の技能	⑦⑧⑨ 調べたことをまとめよう！ 資料活用の技能 調べたことをまとめよう！ 資料活用の技能	⑩ まとめたことを交流し合って、学習問題について考えよう！ 思考・判断・表現 まとめたことを交流し合って、学習問題について考えよう！ 思考・判断・表現	⑪ ふくいせいあん所が、なぜ「しゅまり」を使うのか考えよう！ 思考・判断・表現 ふくいせいあん所が、なぜ「しゅまり」を使うのか考えよう！ 思考・判断・表現	⑫ 生産の仕事について考えよう！ 知識・理解 生産の仕事について考えよう！ 知識・理解

3 本時の学習

(1) 目標

福居製餡所が、餡作りに関わる全ての人の幸せを願い上川産小豆「しゅまり」を原料として使用していることを、既習内容や資料を基にして考え、適切に表現できるようにする。

【思考・判断・表現】

(2) 展開【 11時間目 / 12時間扱い 】

*思考アクティブ化シートB-③【活用重視】

	児童の活動	形態	<input type="checkbox"/> 教師の働きかけ◎主な発問◆教師の評価(評価方法) ☆思考を活性化させるアクティブ化ポイント <用いる思考スキル>
導入 7分	1 前時の学びを想起する。	全体	<input type="checkbox"/> 上川産小豆の需要が少ないことに気付くために、十勝産が広く流通していることがわかる資料を提示する。 ☆ これまでの学習で、思い入れがある上川産「しゅまり」が、十勝産小豆よりも有名ではない事実を示し、それを原料として使う福居製餡所の思いについて考えさせる。 【思 B③ - ②】 <S①多面的に見る>
	2 原料の小豆は「十勝産」が全国的に有名であり、「しゅまり」よりも多く生産されている事実を知る。 ・「しゅまり」の方が有名だと思った。 ・私もスーパーでは見たことがないよ。 ・こんなに「しゅまり」が少ないなんて。		
	3 本時の課題を把握する。		
	とかち産のあずきのほうがゆう名なのに、なぜ、ふくいせいあん所は、上川産「しゅまり」を使っているのか考えよう。		
	4 問題かいけつニコニコシートに学びの目標を記入する。	個人	
展開 25分	5 福居製餡所だけでなく、「農家」「お客・菓子店」の視点をもたせる。	全体	<input type="checkbox"/> 福居製餡所以外にも、「しゅまり」に関わる人々がいることに気付かせる。
	6 それぞれの立場の人たちにとって、「しゅまり」を使うことには、どんな利点があるのか考える。 <農家の人> ・使ってくれて嬉しい。 ・冷害に強くてたくさん採れる。 <工場の人> ・おいしいあんこができる。 ・近くの農家さんから買えるから安心。 <お菓子屋さん・お客さん> ・おいしいお菓子ができる。 ・おいしいからたくさん売れる。	個人	◎ 立場によって、「しゅまり」を使うとどんなうれしいことがあるのかな。 <input type="checkbox"/> 主に自分の調べた立場で、既習事項と関連付けながら考えさせる。
	7 全体で考えを出し合い、異なる立場における思いを比べることで、「しゅまり」を通して関わり合っていることに気付く。	グループ	<input type="checkbox"/> 考えを広げたり、似ているところを見付けさせるために、グループで交流させる。
		全体	◎ それぞれの思いに、似ているところはあかな。 ☆ それぞれの立場を構造的に示すことで、「しゅまり」に携わる人々が関わり合っていることを視覚的に捉えさせ、理解させる。 【思 B③ - ⑦】 <S⑧関連付ける>
	8 「しゅまり」を使用することで、地域の人々が関わり合っていることを理解する。	全体	<input type="checkbox"/> 生産、加工、消費に関わる人々のつながりについて捉えさせ、福居製餡所が、地域の幸せを考えているこ

	9 福居製餡所社長の「しゅまり」に対する思いを知る。		とに気付かせる。 □ 児童の考えを裏付けるために、社長の地域に対する深い思いについて知らせる手紙を披露する。
終末 1 3 分	10 学習問題に対してのまとめと自分の考えについて書く。 福居製餡所は、地域の人々の幸せを願って、上川産「しゅまり」を使っている。 わたしは、・・・・ 11 問題かいけつニコニコシートで、自分の学びを振り返る。	個人	◎ 学習問題の答えを書きましょう。また、今日の学びから考えたことを書きましょう。 ◆ 福居製餡所が、餡作りに関わるすべての人の幸せを願って上川産小豆「しゅまり」を使用していることを、既習内容や資料を基に考え、適切に表現する。 (発言、ノート)

(3) 評価

◇評価規準の具体（評価方法：発表，ノート）

【社会的な思考・判断・表現】

十分に満足できる（A）： 学習問題に対するまとめを、上川産「しゅまり」に携わる地域の視点から、その関係について考え、表現している。

おおむね満足できる（B）： 学習問題に対するまとめを、福居製餡所をとりまく、農家や菓子店、消費者の立場から考え、表現している。

努力を要する児童への指導： 農家、菓子店の視点を提示し、餡作りにどう関わっているか考えさせる。

(4) 板書計画

1 1 / 2 1

㊦

とち産あずきのほうがゆう名なのに、なぜふくいせいあん所は上川産「しゅまり」を使っているのか考えよう。

